

No・オプション名	12) 整正幅可変ブレード(別称:バリアブルブレード、可変幅2枚ブレード、可変伸縮型ブレード、高幅員除雪装置、整正幅可変グレーダ)
使用機械	除雪トラック
使用工法	路面整正、圧雪除去
使用場所	道路(国道、高規格幹線道、暫定二車線高速道)、右左折帯、バスベイやトンネル入り口など除雪幅可変作業場所。
使用法	<p>暫定車線、登坂車線、トンネルやバスベイなどの車線数の変更などに対して、作業走行しながら油圧シリンダによりブレードをサイドシフトし、路面整正幅を可変して作業を行う。</p> <p>取り付け トラックグレーダの支持装置を使用し、標準ブレードの代わりに取り付ける。</p> <p>操作方法 操作方法には、レバースイッチ操作とボタンスイッチ操作のタイプがある。レバースイッチ操作のタイプは、任意の除雪幅で止めて作業ができる。ボタンスイッチ操作のタイプでは、ブレードは自動的に設定された最大幅から最小幅またはその逆に伸縮する。</p>
機能構造	<p>作業幅を油圧シリンダにより伸縮できるブレード。作業場所や目的により、固定ブレードに対して左右どちらかの片側ブレードがスライドする構造のもの、中央のブレードガイドに対して左右のブレードがスライドする構造のもの、中央の固定ブレードの両端にスライド式ブレードを装着したものがある。</p> <p>ブレードのサイドシフト作動は運転席でスイッチを操作し、電磁弁を切り替えてサイドシフトシリンダ(図参照)を作動させて行う。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>写真 中央のブレードガイドに対して左右のブレードがスライドする構造のもの</p> <p>例えば、写真の場合、トラックグレーダは、除雪幅2.9 mから最大限伸ばすと4.0 mになる。ブレードは、それぞれ元の位置から左右に広がっている。 トラックグレーダと車両の位置関係は、(11)トラックグレーダの項の図を参照。</p>

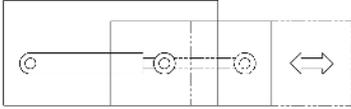
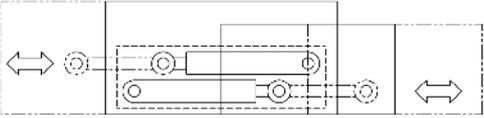
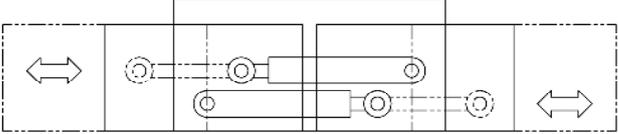
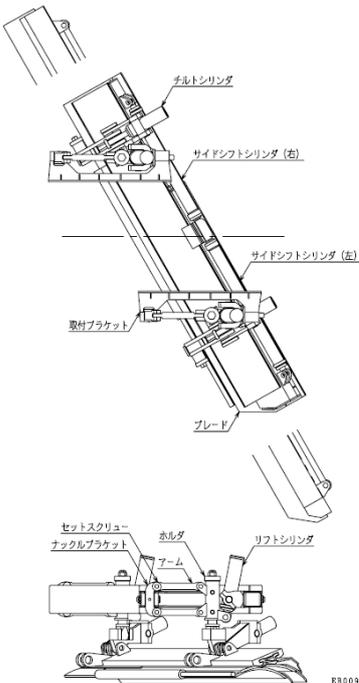
	 <p>1. 固定ブレードに対し片側ブレードがスライドする構造 ブレード2枚</p>  <p>2. 中央ブレードガイドに対し左右のブレードがスライドする構造 ブレード2枚</p>  <p>3. 中央の固定ブレードの両端にスライド式ブレードを装着した構造 ブレード3枚</p>
特徴	<p>ブレードの幅を縮小する。一台で除雪しながら幅を可変できるので、多車線道路と二車線道路が混在する工区で威力を発揮する。暫定二車線高速道路や幹線道路の除雪に使用する。カッティングエッジが一直線にならないため、作業時は切削角を可変できない。また回送幅を狭小化できる。</p>
留意事項	<p>後続車両へなどへの注意が必要。またトラックグレーダに比較して機械の価格上昇につながる。さらに、アングリング機能のオプション設定がある。(整正幅可変アングリングブレードと呼ばれているが実績は少ない。)</p>
図・写真	 <p>図 整正幅可変ブレード</p>



写真 整正幅可変ブレードによる道路除雪作業

備考